

FOSE2023 in 三重県 伊勢志摩

2023/11/9 ~ 11/11

発表者：野口

1 日目

基調講演

- ソフトウェア工学はどのような韻をふむか（鵜林先生）

リポジトリマイニング

1. Dockerfileプリプロセッサの自動抽出に向けたファイルアーキテクチャの調査
2. 生存時間分析によるOSS活動継続に関する実証評価
3. 利用部分の一致度に基づいて得られたソフトウェア部品群における部品間の関連性の調査

2日目

プログラミング

1. 拡張操作履歴グラフ構築の改善
2. 記号実行とミュートーションを活用したプログラム正誤判定の効率化

プログラム自動修正

1. 初学者のためのデバッグ作業支援に向けた大規模言語モデルの初期評価
2. プログラム自動修正に向けた行単位のバグ予測手法の拡張と評価
3. 自動生成されたパッチがコーディング規約違反に与える影響
→ 自分の発表

ポスター発表

FOSE30周年のあゆみ（名倉先生）

3日目

実証的研究

1. 工数見積もりにおける欠損値補完手法を用いたデータ修正方法の提案
2. システム構成を考慮したソフトウェア保守種別と工程比率の作業効率への影響分析
3. 小規模Javascriptプロジェクトにおけるclass構文の使用実態の調査

開発支援

1. 複数プロジェクト開発履歴を用いた修正を要する規約違反ソースコード予測の試み→亀岡くんの発表
2. Github Copilotを用いたコード推薦における入力言語の影響調査
3. 連続した条件分岐に対するコーディングチェッカー

自分の発表

質疑

1. スタイルごとに規約違反が発生する割合を分析する際に、projectスタイルを用いなかった理由は？（近藤先生）
2. IDEのフォーマッタを使って直せなかった違反は？（名倉先生）
3. APRパッチを適用して、フォーマッタするのではだめ？（福安先生）
4. もっともらしいパッチはどのように扱っている？パッチは全てcorrect patchのみを使用しているの？（丸山先生）

感想

- 発表するまでが一番緊張
- 想定した質問が多かった
- 会場が広かったため、スライドのフォントサイズは注意が必要
 - 真ん中で座っていて24が限界

面白かった発表

通常論文

- 記号実行とミュートーションを活用したプログラム正誤判定の効率化
 - 記号実行：変数に具体値を入れず，実行をシミュレーション
 - ミュートーション：四則演算の書き換え，変数を一箇所のみ変更

ポスター発表

- 大規模言語モデルを用いてプログラムコードとコメントの整合性を確認する手法の提案
 - コメントの情報からGPTを使って生成されたコードと実際のコードとの整合性を測っていた

全体的に大規模言語モデルを使った
研究がめちゃくちゃ多く感じた

収穫

いろいろな学生と交流

- 柏先生の研究室の学生と仲良くなれた
- 優秀だなと感じる場面が多かった
 - 発練での的確な指摘
 - 豊富な知識

研究に対してのモチベーション

- 発表や交流の中で、自分にはまだ足りない知識などが多く感じたので、勉強はしていけないと思った。
- 発表の仕方に関しては、いい意味でも悪い意味でも参考になった
 - 特に貢献賞を取った人のプレゼンでの伝え方はとてもわかりやすかった。

ご飯

旅館



1日目



2日目

旅館以外



集合写真

初めての学会発表，楽しかったです！

